



麻婆豆腐スパイス！山椒の実の不思議な話

店主の話 vol.1

皆様 ようこそ おいでくださいました、私は店主の山本でございます。

本日は食事の間に箸休めとなる私の体験したお話をいたします。

今回は皆様から美味しいとお褒め頂いている麻婆豆腐に使っている山椒の実の話です。

1973年から営業していますが麻婆豆腐をメニューに入れたのはそれから5年程経ってからの事でした。最初山椒は入っておらず挽肉と豆板醤・ニンニク・ラー油・等を入れ調理していました。

調理師に麻婆豆腐で有名な東京の四川飯店の陳さん（今は亡きお父さんの建民氏）の元で修業した人が入社してから中国産の花椒を使いはじめました。

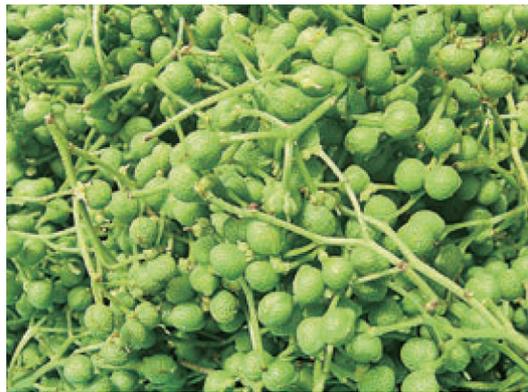
花椒と山椒の違いは同じミカン科サンショ属の落葉低木ですが花椒は中国の華北山椒の果皮で、皮だけを使います。山椒の実には日本の山椒の果実で実も使います。

日本では昆布と炊いたりして昔からなじみの深いものですが、西洋では現代まで使っていなかったようです。英語では花椒を四川ペッパー（シチュアンペッパー）山椒をジャパニーズペッパーと言いつけています。中華料理では花椒を使うのですが7年程前、NHKの放送で現在世界中の料理界で山椒の実がホットな話題となり、フランス料理・イタリア料理界も使い始め、今最も注目されている調味料だとの放映がありました。まだあまり解っていないらしいのですが山椒の実には不思議な成分が含まれていて、癖になるといかもう一度食べたいという作用が脳に働くようです。

麻薬の様ですが、健康的な依存食とでもいうか注目の調味料なのです。

現在、当店の山椒麻婆豆腐には宍粟市の農協のご協力のもと朝倉山椒を使っていますが、

3年前からある神社の境内の裏に自然に群生している山椒を混ぜています。



宍粟市朝倉山椒

これには訳がありまして、私の実家はその神社の奥夢前町菅生潤という所ですが明治8年生まれの祖父にその神社の話をよく聞いていました。

「若い時は歩いたり自転車に乗ったりで姫路の街によく出かけていて、今はその道は獣道になっているが当時はその神社の中をよく通っていた。

ある日友人と二人で帰りに通った時には遅くなって夜9時頃だろうか・・・

友人が立ち止まりいくら呼んでも返事をしないでじっと上を見上げていた。

きっとあの時、狐に取りつかれていたのだと思う。」と言っていました。

わたしが小学生の頃の話です。

それから私の母の話に変わります。

母は今年九十三歳で元気でいますが、昔運勢を見る人（今でいう占い師）に見てもらったら貴女には狐がついている。

悪い意味でなく狐が守っていると言われたといひます。

そういえば思い当たる出来事があります。

母は1945年（終戦年）今の姫路京口にありました川西航空機という所で紫電改という戦闘機の翼に日の丸を書いていたといひます。

当時女子挺身隊の隊員として友人はみな軍需工場で働いていたらしく、今よくマスコミに取り上げられている加西市の鶉野飛行場へも軍需トラックの荷台に乗りよく行っていたといひます。

当時の工場写真



加古川駅での展示会



当時の思い出を語る母

母の実家は福崎町なのですが、その日急に父に用事を言いつけられ播但線福崎駅へ歩いていたら、米軍のB29と戦闘機（今でも母はグラマンとか呼びます）が上空で旋回し姫路方面へ飛んで行った。

怖くて当時あった駅近くの竹やぶに母の父と飛び込んだと聞きました。

そしてその時の空襲で姫路城辺りから市川の河原まで焼け野原となり、一緒に働いていた挺身隊の友人は皆その時の爆撃で亡くなってしまったそうです。

この話は10年前、日赤に敗血症で入院した時に担当医にあと1週間の命だと告げられた時にしてくれました。だからあの子たち（今も友人は18歳の時のままなのでしょう）の分も私は生きなければと云い担当医も驚きの回復を見せました。

初めて聞いた話だったので余談ですが厚生年金は一度も貰っていなかったので社会保険事務所に確かめに行くと年金記録に記帳があり、未収だった厚生年金を払ってもらった次第です。

話はそれでしたがその病にかかるまで、自分で車を運転していつもその神社の前を通り今宿店へ手伝いに来ていました。ある日、帰りに神社の前で1頭の狐に出会ったそうです。

車を止めたけれどもじっとこちらを逃げもせず見ていたと。

その事は私にも言っていました。当時私は何とも思っていませんでした。



狐と出会った不思議な神社

3年程前、母の夢に狐が出てきて「裏のを使え」と言うらしいのです。

意味が解らずいたのですが母とその神社に詣りに行ったとき裏に回ると野イチゴが沢山なっていたので、これを使って杏仁豆腐を作れという意味か？と考えたのですが、山椒の実が沢山なっているのを見つけ「あーこれか！」と気が付いた次第です。

しかし、いくら自生していて誰も摘まないとしてもその神社はその村の管理のようですから使わせて頂くお願いに自治会を尋ねようと思っていたところ、お近くの方が掃除に出て来られたので、「山椒の実を誰もお使い無いのなら使わせて頂けますか？」と聞いたところ「お賽銭たくさん入れといてね」と笑っていらっしゃったので、今も甘えています。

伝えたい話はここからなのですが、私はげんをかつぐ方でこのネクタイをした日やこの靴を履いた日は善いことが起こる・・・等々ですが、山椒麻婆を食べた日はラッキーな事が起こるような気がしてなりません。

初めは私だけの感想でしたが他の人（身内やスタッフの人）も同じ（感じ）を持っているらしくて、山椒麻婆をラッキー麻婆1丁入りしましたとか言ってオーダー通しをしていましたが、最近お客様にもその様な（感じ）をお持ちの方がいらっしゃって、神社の山椒が原因？と不思議に思っております。

皆様の中にテストの前とか大事なことの前に、山椒麻婆を食べて是非「げん」をかついでみてください！

山椒で開運！！

てんじくおススメ陳麻婆豆腐

